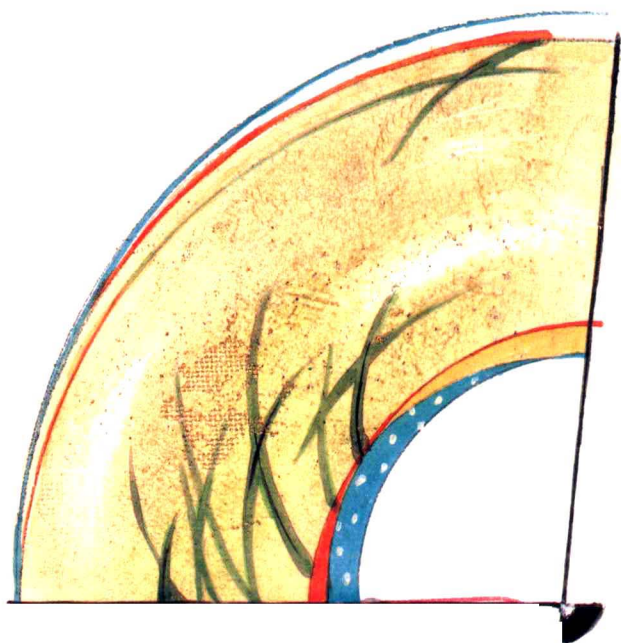


うぐいすひめ

望月新三郎 ● 文 牧野鈴子 ● 絵

ワンダー民話館





ワンダー民話館 うぐいすひめ

二〇〇六年二月二十日 初版第一刷発行

望月新三郎 絵 牧野鈴子

発行人 小林公成

発行 株式会社世界文化社

東京都千代田区九段北四二二九

〒一〇二一八一八七

電話〇三(三二六二)五一一五(販売本部)

〇三(三二六二)五一二一(編集部)

印刷 共同印刷株式会社

製本 株式会社大観社

禁無断転載・複写

©Shinzaburo Mochizuki, Suzuko Makino

2006 Printed in Japan

ISBN1-418-06814-7

紙で手を切ることがあります。

絵本の扱いには十分ご注意ください。

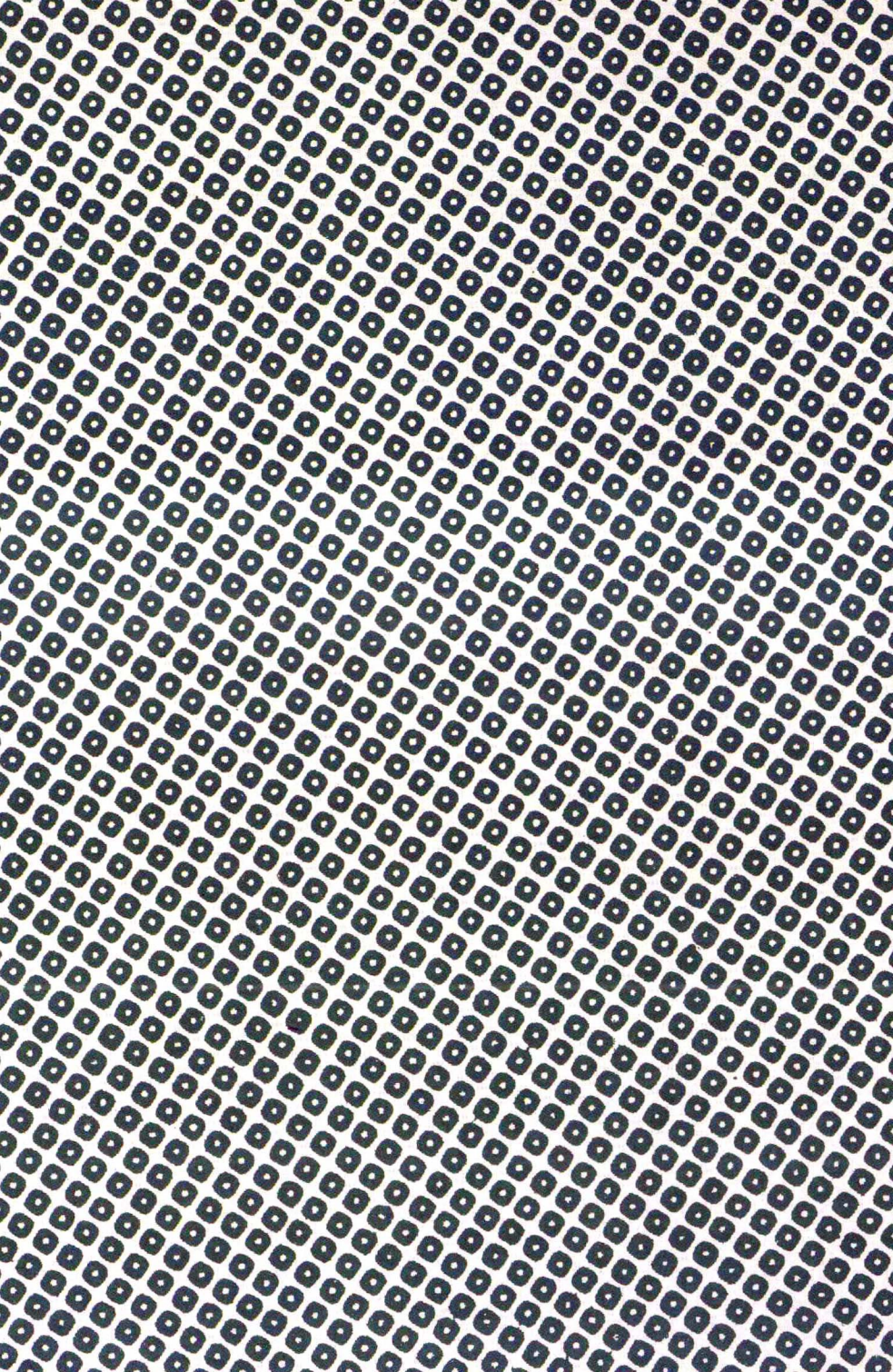
うぐいすひめ

望月新三郎 ● 文
牧野鈴子 ● 絵

江苏工业学院图书馆
藏书章

タノ民話館





うぐいすひめ

文●望月新三郎 絵●牧野鈴子



む

かし ある むらに ひとりの わかい きこりが おったと。
ある とき やまの おくで みごとな ならの きを みつけ
きりたおそうと した。

すると うつくしい あねさまが あらわれ、
「もうし、どうか その きを きらないで ください」
つて たのんだって。





✕
こりは あねさまの うるんだ めと うつくしい こえに
こころを うごかされ、ならの きを きるのを やめたつて。

あねさまは うれしげに いうんだと。

「わたしの うちに きて やすんで いって くだされ」

きこりは いわれるままに あねさまの おおきな やしきに まねかれて
ごちそうを たんと よばれたと。







こりは つぎの ひも、また つぎの ひも、
たのしく あねさまの やしきに とまって おったって。

そんな ある ひ、あねさまは きこりに いうた。

「ちよつと さとまで いって きますので るすばんを たのみます。
でも、にばんめの くらは みないで ほしい。

この こと、きつと まもつて くだされ」
そう いうと でかけて いった。

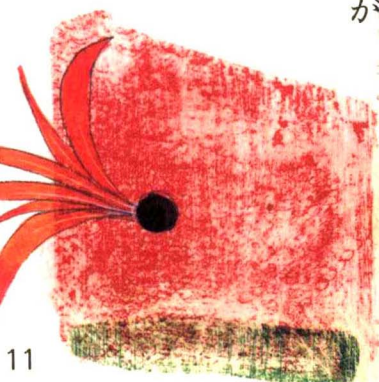




こりは
あねさまが
でかけると、
そっと
いちばんめの
くらを
あけて
みた。

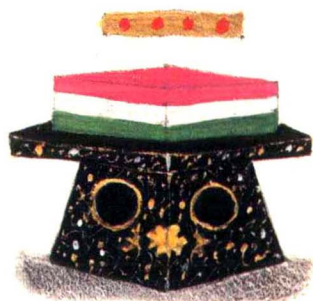


すると きれいな ざしきの とこのまに うめと たけと まつが
 いけて あり、かがみもちや ごちそうが ならび、
 きれいな ベベ きた こどもたちが
 おしようなが つは ええ もんだ
 ゆきのよう な まま くって
 あぶらのよう な さけ のんで
 と、 うたつて あそんで おったと。





へんばんめの　くらを　あけると
 ひなだんに　おひなさまが　かぎつて　あつて、
 にぎやかに　たいこ　つづみに　ふえ　ふいて、
 ごにんばやしが　それは　にぎやかで　あつたと。





♪
んばんめの くらは いちめんになのはな すみれが
さくらは はなも まんかい。 さいていて、

その したで、たくさんの ひどが ごちそうを たべたり、
おさけを のんで おおにぎわいをして おった。



